

はじめに

会派やらいやの藤井隆弘です。質問の順番を入れ替えて、①学校教育とPTA ②健康福祉諸施策 ③防災体制とインフラ整備について質問をします。

1 学校教育とPTAについて

(1) 今回は、保護者、PTAに関係した質問をします。はじめに2点お伺いします。

問①

①国内のPTAの現状について

・PTAとはどういう組織ですか。また、近年全国組織や県単位のPTA組織から脱退する動きがありますがこのことを教育長はどうお考えですか。

②倉吉市のPTAの現状について

・市内小中学校の活動状況や予算の執行について、教育委員会はどのような関わりを持っていますか。

都道府県教育長協議会がまとめた「学校教育に係る公費負担の適正化について」には、公費負担とすべき経費として、1. 学級、学年、学校単位で共用または備え付けとする物の経費 2. その他管理、指導のために要する経費と負担区分が示されています。

全国PTA連絡協議会のホームページには、PTA会費の適切な使用に関して「公費と私費の負担区分を考え、PTA会費を本来の目的のために適切に活用しましょう。PTA会費は、PTAの運営と活動のために使われるお金で、公費でまかなう学校の施設設備の修繕や備品の整備、教育活動として行われる学校行事などにかかる経費をPTA会費から支出することは適正ではありません。また、子どもたちの教育環境を整えるために善意の寄付をする場合には、総会などで承認を取り、寄付採納の手続きを行うべきです。」とあります。

倉吉市のPTAではPTA会費の執行に問題はありませんか？

教育長答弁

①国内のPTAの現状について

*略

②倉吉市のPTAの現状について

それぞれ会則に基づいて、事業・予算を執行している。事務職員が会計を担い、

保護者と中心となってやりとりするのは教頭先生。予算執行等については、しっかりとチェックをし、総会で承認を得ている。

問②

朝日新聞のPTAに関する記事に、PTA会費の不適正な取扱いの事例が示されています。また、PTA会計に詳しい公認会計士が「教育委員会は、PTAを任意団体だから」と放置せず、基本的なルールを定めたマニュアルを作ったり、情報公開を求めたりしてほしい。任意団体で起きているお金の不正を問題視することについて誰も反対しないだろう。」とも言っています。

頂いた各学校のPTA総会資料を見ましたが、PTA会費の執行についてこれだよいかと思われる事例（20万以上の草刈り機や除雪機等備品の購入、教育活動費・教育振興費（児童・生徒活動、：学校行事や図書館運営、環境整備、保健衛生（校庭整備30万、フロアシート購入36万、カーテン購入7万）等があります。公費として購入すべき物は公費で購入→教育委員会で聞き取りをして予算をつける。子どもたちのためにと購入して頂いた備品等の管理はどうなっているのか、寄付採納などきちんと行われているのか等、「きちんとされていると思います。」とのことでしたが、**教育委員会としてしっかりと点検をして適正な執行に努めて頂きたいと考えますがいかがですか。**

教育長答弁

一つ一つの学校のPTA会計についてのチェックをしているわけではないが、私費会計と公費会計の区別等について、学校に対しても再度点検・確認をして頂くことが先決。PTAは任意の団体なので、まずは学校がすることを声かけをし、教育委員会としても必要があれば実態調査等の検討をしてみたい。

藤井

PTAの善意に甘えるのではなく、本来公費としてきちんと予算付けをすることが大切。学校要望をしっかりと聞いていただき、しっかりと点検をしてほしい。このことについては、新年度に入ってからでももう一度質問させて頂きます。

（2）ふれあいホリデーとPTA

昨日、山根議員の質問にもありました「ふれあいホリデー」についてです。

問①

- ①ふれあいホリデー実施にあたって、先行事例（県立学校、鳥取市、琴浦町、南部町）を研究して、課題となりそうなことへの対応をしましたか。
- ②ふれあいホリデー実施にあたって、PTAからの意見集約などは行いましたか。昨日の質問の中では、中学校PTA連合会からの申し入れもあり実施したとのこ

とですが、より小さな子どもたちと保護者への対応が大変だと考えます。

小学校 PTA 連合会との意見集約では課題は出なかったのですか。

教育長答弁

①先行事例の研究と対応について。

* 略

②PTA からの意見集約実施とそれによる課題について。

中学校の保護者会の方からの要望で始まっている。教育に関する協議会で小学校のPTA、中学校のPTAの代表の方も集まっておられる会だったので、ふれあいホリデーの趣旨説明をしたり、理解を図る機会を持たせて頂いた。

来年度以降も「子育てしやすい倉吉」の実現に向けて試行的な取り組みはやっていきたい。保護者が、子どものために休みを取りやすかったり、保護者が困ったときには地域でという雰囲気になっていけばいいなと思っている。アンケートもとるので、アンケートの中身を参考に改善すべきは改善して試行していきたい。

問い②

親がきちんと休みやすい体制ができていること、そこがきちんとできていないのに無理をすると、子どもが悲しい思いをしたり保護者同士で「いかなものか」といったことになる。アンケート結果にかかわらずやるということであるようだが大丈夫か。

教育長答弁

「倉吉のまちをどのようにしていきたいのか」という教育委員会の思いを企業にも伝え、「今日はこういう火だから小学校や中学校の子どもさんがおられる人は休んでもいいよ。」といった声かけが出てくるよう取り組んでいきたい。

藤井

市町、今の言葉聞かれました？市長の出番ですよ。どうですか？

市長答弁

企業の方への取組みについてです。前教育長が商工会議所の方に出向いてお願いをしたところです。全て企業で休めるとは限らないが、できる限り協力して頂けるように、試行・工夫して来年度は取組み、課題解決に向け、地域で子どもを守るよう市長部局としても協力をしていきたい。

藤井

全市の取組みとして、教育委員会がリーダーシップをとりながら、全庁的な取組みとなるようお願いします。